

7 志村親和町会

(板橋区)

構成世帯数：3,574 世帯（令和 2 年）

未加入の子育て世代を地域交流事業に呼び込む

「親子ファミリーデー」と銘打ち春のイベントを実施

●ポイント

- ・高齢化が進むが年少人口も増えているエリア。
- ・新築集合住宅マンションの住民が一度は加入するが、管理組合の理事長交代で退会するケースが発生し、対応に苦慮している。
- ・「地域の底力発展事業助成」を活用した「春のイベント（親子ファミリーデー）」で未加入の子育て世代の参加を呼び掛け、入会を促している。
- ・さらに、町会役員による未加入世帯の訪問や、機関誌「親和町会だより」の未加入世帯への配布を検討している段階。

高齢化が進むが人口増加率が高く年少人口も増えているエリア

都営地下鉄三田線「志村三丁目」駅を中心に東西に長い町会で、構成世帯数は 3,500 世帯を超え、志村坂上地域センターの管轄となる 9 つの町会の中でも最大の町会となっている。大別すると戸建、都営住宅及びマンションで構成されている。

板橋区の「エリア別の都市づくり」では、「小豆沢・志村エリア」に入る。区ではこのエリアについて、「気軽に運動が楽しめる暮らしと活力ある産業が共存したまち」をめざした都市づくりを展開としている。平成 19 年（2007 年）から平成 28 年（2016 年）にかけての人口増加率が約 8.7%と高く、特に年少人口は 11.6%、老年人口は 35.5%増加、高齢化が進んでいるが、子どもも増えている（区都市づくりビジョン）。

マンション住民が管理組合の理事長交代により退会するケースが発生

志村親和町会会長は、町会の課題として、新築マンション集合住宅の新たな住民に対する加入促進対策を挙げる。

会長によれば、新築マンション集合住宅が建設されて入居が始まる際には、板橋区町会連合会から連絡が入る。管理組合及び入居者の代表などに対して町会の説明会を開き、事前打ち合わせを行うことで全世帯が町会に入会する。

一方、「新築マンションの入居者は、町会に入会后 2～3 年すると、毎年管理組合を創設し、理事を 1 年ごとに選任されますが、新理事長さんの方針で町会を退会する旨の申し出があり、非常に困るケースが

発生し苦慮しております」（会長）と報告していて、退会の理由を把握して町会に加入するメリットをいかに理解してもらうかが課題となっている。

新規加入促進を事業の柱の１つに「春の親子ファミリーデー」を開催

そこで、町会では担い手の育成や新規加入世帯の獲得に向け、魅力ある町会を目指して毎日努力していく中で特に若い人を募集。マンションに入居した若い子育て世代に町会の手伝いをお願いしている。新規加入世帯の獲得では、小学校の「おやじの会」のメンバーを引き入れることを目標にしている。

東京都の「地域の底力発展事業助成」を利用した活動では、令和元年度（2019年度）に「春の町会イベントを通じた地域交流促進事業」を実施。事業内容は、①町会への加入促進②地域交流、交流自治体の物産展③広報誌「2020 たより」の配布ーを柱に据えた。

町会管内の志村城山公園で4月14日に開催した「春のイベント」では、参加予定人数を50人上回る約450人が参加。会場内には地域住民の交流の場としてフリーマーケットスペースを設け、町会加入者に貸し出し、自主会計によるフリーマーケットを開いた。なお、各ブースの利用費の一部を社会福祉団体へ寄付をした。イベントでは、町会模擬店（焼き鳥等）を実施。来場者にはもち米と山菜を使って町会女性役員が調理したおこわを無料配布し、会場内に設けた飲食スペースで食べてもらった。

また、例年、千葉県睦沢町の協力を得ており、同町の物産展と模擬店により賑わいのあるイベントとし、双方の住民らによる地域交流の活性を図った。

なお、イベントは「春の親子ファミリーデー」と銘打ち、PRのためのチラシに「来場者には町会特性のおこわの無料配布も行います！ 町会に未加入の方もぜひご参加ください！」と記載。未加入者の参加を呼びかけた。

さらに、会場には町会名の入ったのぼりを立て、初めてイベントに参加した人には町会名入りの熨斗を付けた手ぬぐいを広報誌と一緒に先着順に配布するなどして、町会への加入を促進。その結果、7世帯が新規に加入した。親子連れの子が多数来場した結果、若い世代の地域イベント、町会活動への関心を高めることができたとしている。

事業は、青少年健全育成志村坂上地区委員会で全面協力を得て実施した。

町の魅力PRへ未加入世帯への訪問活動を検討

志村親和町会では、町内の12カ所にある板橋区の掲示板を利用して祭り、盆踊り、防災訓練、町内美化運動、スポーツ大会及び桜まつりなどに町会未加入の人に参加してくれるよう案内している。ただし、そうした案内に「興味を示してくれません」（会長）とのことで、今後、町会の加入世帯数を増やすために「町会役員で未加入世帯を訪問し、町会の魅力をPRしたい」としており、より積極的な勧誘活動を展開しようとしている。

コロナ禍で休刊中の「親和会だより」を再開し未加入世帯にも配布したい

そのほか、志村親和町会総務部で会員向けに年2回発行している「親和だより」が今はコロナ禍の関

係で休刊中となっているが、再開後には「未加入世帯にも配布したい」としている。

「親和会だより」は、町会活動の主要行事を写真入りで紹介しているもので、総務部が編集を担当。例えば、「新成人を祝う会」や青少年健全育成志村坂上地区委員会主催による「新春たこあげ大会」、婦人部が主催する「日帰りツアー」などを掲載し、町会活動を生き生きと伝える内容となっている。